



栃木県立真岡女子高等学校



所在地 〒321-4306 真岡市台町2815
電話 0285-82-2525
F A X 0285-83-6615
U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/mokajoshi/nc2/>
創立 明治44年
課程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 581名（女子581名）（令和3年4月8日現在）
利用交通機関 真岡鐵道真岡駅下車徒歩10分。関東自動車石橋－真岡線（真岡女子高経由）の「真岡女子高前」下車。関東自動車宇都宮東武－真岡線（橋場経由）の「真岡女子高校北」下車徒歩5分。

I 学校の概要

1 学校教育目標

- 高い志を持ち、生涯にわたって学ぼうとする強い意欲と実行力のある人になる。
- 情操を豊かにし、礼儀正しい品位のある人になる。
- 健康を増進し、心身の調和のとれた活力ある人になる。
- 地域・社会のリーダーとして活躍し、より良い社会の形成に寄与する人になる。

2 目指す学校像

- 生徒一人一人を生かすきめ細かな指導を行い、人間性豊かで、地域・社会のリーダーとして活躍できる生徒を育成する学校
- 3年間を見通した進路指導と学習指導を通して、自己の進路目標を実現しようとする意欲と実行力のある生徒を育成する学校
- 部活動の振興や学校行事の充実を通して、向上心をもち、意欲的に部活動や特別活動に取り組む生徒を育成する学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、次の（1）から（3）までの全てに該当する生徒

- （1）自己の特性を伸ばし、高校生活に意欲的に取り組む生徒
- （2）進路意識が高く、学業に自ら取り組む生徒
- （3）人間性を高め、品位を重んじる生徒

II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

1 学校の概要

本校は創立110年を迎える歴史と伝統のある女子校で、「強く、聡く、美しく」を校訓とし、勉学はもとより部活動などにも熱心に取り組む「文武両道」を伝統的校風としています。生徒のほとんどが主に大学への進学を目指す進学校です。例年、東北大や筑波大をはじめ、地元の宇大や茨大等を目指す生徒が多くおり、今春は北海道大、筑波大、千葉大や東京医科歯科大を含む国公立大学に延べ54名の合格者を出すとともに、中央大・津田塾大・東京女子大を含む首都圏の私立大にも多数の生徒が合格しています。また、学校行事や部活動への参加も熱心で、毎年数々の部が関東大会や全国大会に出場しています。さらに、本校生は読書量も多く、図書の貸出し数は県下でトップレベルです。

本校は普通科15クラスの進学校で、各自の進路目標が実現できるよう、3年間の学習指導と進路指導を系統的に進めています。

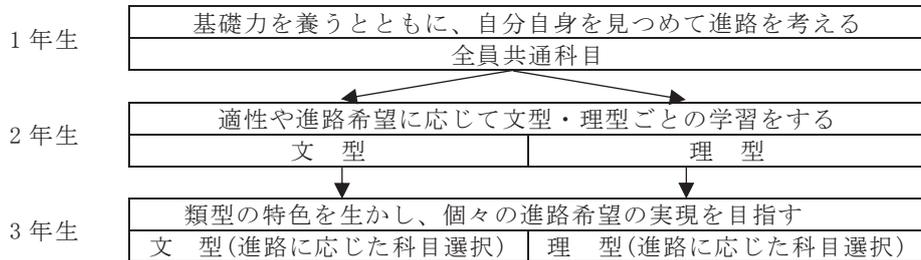
2 本校での学習について

授業を重視しており、生徒が必ず予習・復習をすることを前提としています。中学校学習と比べて進度が速く、内容も高度となるため、「予習・授業・復習」の学習サイクルの実践が必要不可欠となります。

週末課題をはじめ、漢字テスト、古文単語テスト、英単語テストなどの小テストもこまめに行っています。放課後や土曜日、長期休業中には、課外授業も実施しています。年間5回の定期テストと課題テストや校内実力テスト、校内模試、さらには各種の外部模試も実施しています。

3 本校における類型及びその選択について

現在本校では、一人一人の生徒の様々な進路目標の実現に向け、下のような類型を設けてクラス編成を行い、授業をはじめとする学習指導や進路指導等を展開しています。



- * 3年生の文型・理型は、2年生に所属していた類型に継続して所属します。
- * それぞれの類型において、卒業後の進路（国公立大学への進学希望か、私立大学・短大・専門学校への進路希望）に応じて授業科目を選択します。
- * 2年生、3年生では、文型・理型のそれぞれにおいて習熟度の高いクラスを1クラスずつ設置します。

4 本校における教育課程について

5 キャリア教育について

<令和4年度入学生> 50分授業

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎																				
2年	文型	論理国語	古典探究	地理総合	日本史探究 世界史探究	数学Ⅱ	数学B	数学C	化学基礎	化学	物理 生物	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ																			
	理型	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ	数学B	数学C	化学基礎	化学	物理 生物	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ																				
3年	文型	論理国語	文学国語	古典探究	日本史探究 世界史探究	日本テーマ史探究 テーマ別探究世界史	倫理	応用数学A	応用数学B	応用科学B	体育	保健	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ																					
	理型	論理国語	古典探究	地理探究 入試総合演習	数学C	数学Ⅲ	応用数学A	応用数学B	化学	物理 生物	体育	保健	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ																					

□ は選択科目

本校では学年に応じた内容の「進路講話」をはじめとして、充実した様々な進路行事を実施しています。1・2年生の場合、生徒一人一人の進路選択に役立てていくために、その道の専門家の話を聞く「一日職業講座」や、大学の先生の模擬講義を聴講する「一日大学」を実施しています。

3年間のキャリア教育の概要は、次のような流れとなります。

- 1年生…「学習習慣の形成・確立」により基礎学力を養成するとともに、様々な経験を通して適切な「自己理解」に努める。
- ・職業研究を行い、自分が将来就きたい職業について考察する。
 - ・その進路実現のために、どのような上級学校で専門的に学ぶ必要があるのかを知る。
 - ・その進路実現のために、2年生における適切な類型（文型・理型）の選択を行う。
- 2年生…選択した類型の特性を生かし、自己の能力を最大限に伸ばすよう努力する。
- ・上級学校の学部・学科について研究を行い、自己の志望校群を明確化していく。
 - ・進路目標を達成するために必要な、3年生における適切な授業科目選択を行う。
 - ・より高度な学力を身に付け、3年生になってからの本格的な受験勉強の土台とする。
- 3年生…学習の仕上げとして各教科の力を充実させ、自己の希望進路実現のための努力を行う。
- ・将来を見通して志望校群の具体的な検討をし、受験校を決定する。
 - ・最新の情報を的確に捉え、各模試等で自己の実力を把握し、適切な面談などを通しての指導・助言のもと確かな学力を身につけ、進路目標実現を図っていく。
 - ・入試に向けて問題演習も着実にを行う。

本校では、このように学習にしっかり取り組めるよう図書館や自習室を平日は18時まで開放しているほか、土曜日の学校開放を実施しています。また、生徒の進路実現のため、職員が全力で指導に当たっています。



職員室面談（質問）風景



一日職業講座



一日大学での模擬講義

Ⅲ 進路状況

1 令和2年度卒業生の進路状況

進 学			短大	各 種 専修学校	就職	その他	計
大 学		計					
国公立大	私立大学		計				
45	123	168	9	18	0	0	195

2 過去3年間の主な合格大学

(1) 国立・公立大学（令和2年度卒業生延べ合格者54名）

北海道大、弘前大、岩手大、東北大、秋田大、山形大、福島大、茨城大、筑波大、宇都宮大、群馬大、埼玉大、千葉大、お茶の水女子大、東京大、東京医歯大、東京外語大、東京学芸大、新潟大、富山大、信州大、静岡大、九州大、釧路公立大、名寄市立大、青森県立保健大、青森公立大、岩手県立大、宮城大、秋田県立大、秋田公立美大、前橋工科大、群馬県立女子大、埼玉県立大、千葉保健医療大、新潟県立大、富山県立大、山梨県立大、都留文科大、長野大、長野県立大、静岡県立大、愛知県立大、島根県立大 他

(2) 私立大学（令和2年度卒業生延べ合格者数266名）

東北福祉大、郡山女子大、つくば国際大、常盤大、足利大、国際医療福祉大、作新学院大、自治医科大、獨協医科大、白鷗大、文星芸大、高崎健康福祉大、城西大、獨協大、文教大、ものづくり大、神田外語大、淑徳大、千葉工大、青山学院大、亜細亜大、桜美林大、大妻女子大、学習院大、北里大、慶応大、工学院大、國學院大、駒澤大、実践女子大、芝浦工業大、順天堂大、昭和大、専修大、創価大、大正大、大東文化大、拓殖大、玉川大、多摩美大、中央大、津田塾大、帝京大、東海大、東京家政大、東京女子大、東京女子体育大、東京電機大、東京農大、東京薬大、東京理大、東洋大、日本大、日本女子大、日本女子体育大、法政大、武蔵野美大、明治大、立教大、早稲田大、神奈川大、神奈川工科大、鎌倉女子大、新潟医療福祉大、京都外大、京都産業大、京都女子大、立命館大、龍谷大、近畿大、神戸女子大 他

Ⅳ 特別活動等の紹介

1 特色ある学校行事について

学校生活に変化を与え、学業とは別の個性発揮の機会となる学校行事の中で、特に合唱コンクールについては、練習期間に学校中が歌声に包まれ、本番ではハイレベルな歌唱がなされています。生徒ばかりか保護者も楽しみにしている行事です。また、「桜が丘祭」と呼ばれる学校祭は、1年おきに一般公開されています。さらに、5月末に行われる3年生全員による伝統の集団演舞「『荒城の月』幻想」は、演じる生徒にも、見学者にも大きな感動を与えています。

2 部活動について

(1) 部活動一覧

運動部：陸上競技・卓球・ソフトテニス・バドミントン・バスケットボール・バレーボール・ソフトボール・剣道・ダンス・テニス・特設（水泳等）

文化部：文芸・理科・美術・書道・英語・放送・演劇・写真・茶華道・琴・合唱・吹奏楽・JRC（青少年赤十字）

(2) 活動状況

現在24の部に全校生徒の9割以上が所属して活発な活動を展開しており、部活動は生徒の多様な能力と個性発揮の場となっています。卓球部をはじめ、数々の部が関東大会や全国大会に毎年出場しています。根気強く、粘り強い生徒と、熱心な指導者の努力の賜物です。日々の鍛錬の中から心身のたくましが形成されます。一方、大きな大会への出場が実現しなくても、黙々と部活動に取り組む多くの生徒がいます。「礼儀正しさ」や「品位ある態度」、「社会性」は、そのひたむきな取り組みの中から生まれ、やがては将来地域を支える社会人としての総合力の基礎となっていくます。さらには、興味・関心のあることの共有をとおして、気の合う仲間や生涯付き合える親友もでき、悩みごとの相談など、お互いに支え合い、充実した高校生活の一助となっています。

(3) 全国大会・関東大会出場を果たした部の実績（令和2年3月31日現在までの1年間の実績）

※令和2年度は多くの大会が中止となりましたので、令和元年度の実績を掲載しています。

【運動部】①卓球部

* 関東高等学校卓球大会（R1.6月）37年連続67回目出場

* インターハイ卓球競技（R1.8月）

* 国体関プロ大会卓球競技（R1.8月）

* 関東高等学校新人卓球大会（R1.12月）

- *全日本卓球選手権大会 (R2.1月)
- *東京卓球選手権大会 (R2.3月)
- *全国高校選抜卓球大会 (R2.3月) 12年連続28回目出場
- ②陸上競技部
 - *関東高校陸上競技大会 (R1.6月)
 - *関東陸上競技選手権大会 (R1.8月)
 - *全国高校選抜陸上競技大会 (R1.8月)
 - *関東選抜新人陸上競技選手権大会 (R1.10月)
 - *国民体育大会 (R1.10月)
 - *2020日本室内陸上大阪大会 (R2.2月)
- 【文化部】①放送部
 - *NHK杯全国高校放送コンクール (R1.7月) 38年連続出場
 - *全国高校総合文化祭放送部門 (R1.8月)
 - *関東地区高校放送コンクール (R2.1月)
- ②合唱部
 - *NHK全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクール (R1.9月)
 - *関東合唱コンクール (R1.9月)
 - *関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト
- ③JRC部
 - *全国高校生ボランティアアワード (R1.7月)



校内合唱コンクール



「『荒城の月』幻想」

V 特色選抜について

- 1 定員の割合
普通科 20%程度
- 2 出願するための資格要件
次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者
 - (1) 中学校で優秀な学業成績を取め、明確な進路目標をもち、高い学習意欲をもつ者
 - (2) 本校での学習に適應できる基礎学力を有する者で、中学校での部活動、特別活動などに優れた実績をもち、本校入学後も積極的に活動する意欲がある者
- 3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
小 論 文	時間50分 字数600字程度

- 4 その他、特記事項
なし
- 5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、
 - ①「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計(135点満点)し、段階評価を行う。
 - ②「特別活動の記録」及び「行動の記録」についても段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分及び面接の結果から、部活動、特別活動などの実績について段階評価を行う。
- 4 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】2の①の評価が優秀である者で、2の②及び4の評価が良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】3の評価が優秀である者で、2の①②及び4の評価が良好である者を合格内定とする。

第3次審議

第1・2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。